

平成 29 年 10 月 6 日
世田谷区砧南小学校 PTA 会長 海老沢 辰弥
PTA 本部単 P 担当 金子 紀子
文化教育委員長 小田切 玲子

第二回家庭教育学級 報告書

9 月 20 日水曜日、本年度は単 P 研修会と同時開催で第二回家庭教育学級が行われました。「一般社団法人 親・子の片づけ教育研究所」より、橋口真樹子先生をお招きして、「子どもと一緒に片づけ、生きる力に繋げよう ～お片づけスイッチの入れ方（子ども編）～」の講演に教職員 3 名保護者 4 1 名児童 8 名の参加者にお集まりいただきました。終了後のアンケートにはたくさんの感想が書き込まれており、皆様の心に響く有意義な講義の開催ができました。

講師の先生をはじめご協力いただいた皆様、ご参加頂いた先生、保護者の方々に深く御礼申し上げます。

講座概要

プロジェクターを使用し、保護者の方からご提供頂いた写真を交えながらお片づけしやすい環境作り、子どもに対してやる気の出る感じの良い声かけのヒント（大人にも応用できる）についてお話しをいただきました。

<片づく仕組みのヒントは、学校にある>

- 1、「今使っている物」しかない
- 2、「収納スペース」が明確
- 3、「誰でもわかる収納」



<上手な声かけでやる気を育てる>

- 1、子どもを尊重、意見を聞く
- 2、「感じよく伝える」工夫
- 3、やってくれた時こそ、声をかける

家庭内の片づけのコツは、片づく仕組み（スペースは決め、判断は任せる）と子どもの段階に合わせた上手な声かけ（低学年：教えながら一緒にやる、中学年：考えさせながら寄りそう、高学年：大人として扱い声かけ）であり、思春期以降のために「信頼」を積み上げていくことが大切だと学びました。

アンケートより

- 「片づけは生きる力を育む」ということが最初は半信半疑でしたが、子育て、成長につながるとよく理解できました。
- 発達段階に合わせた片づけの手立てが聞いたのが良かったです。
- 感じよく伝える工夫が私にとっては目からウロコ。ほとんどの場合上から目線で伝えていたので気をつけようと思います。